

高知県の地震

目 次

高知県の地震活動

震央分布図及び断面図	1
地震概況	1
高知県で震度 1 以上を観測した地震と各地の震度	2
高知県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図	2

地震一口メモ

「高知県の地震」の見方について	3
-----------------	---

※「高知県の地震」は月 1 回発行するもので、高知県及びその周辺の地震活動状況をお知らせすると共に、適宜、社会的に関心の高い地震について解説します。また、「地震一口メモ」で地震防災知識等の普及に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。

※この資料の震源要素及び震度データは、再調査された後に修正されることがあります。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

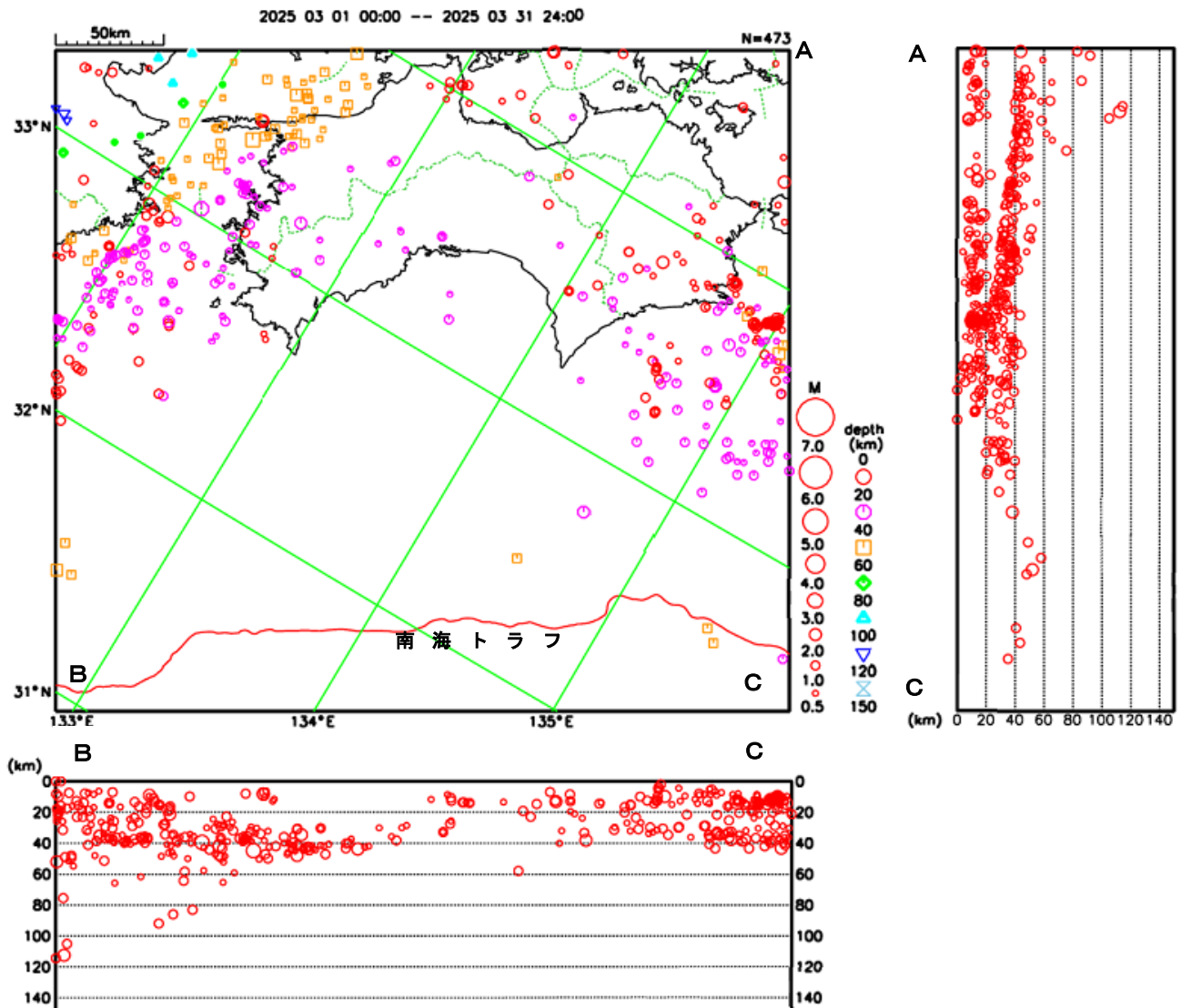
2025年(令和7年)3月

高 知 地 方 気 象 台

高知県の地震活動

「震央分布図及び断面図」

(2025 年 3 月 1 日～3 月 31 日)



震央分布図では、地震の規模を示すマグニチュード(M)はシンボルの大きさと表しています。震源の深さはシンボルの形と色を深さに応じて変えて表しています。右上の「N」は図中に表示しているシンボルの数(地震の回数)、右の「depth」は地震の深さの凡例を示しています。
断面図(右図及び下図)は、震央分布図範囲内の地震の北北西-南南東(A-C)方向断面図(右)と西南西-東北東(B-C)方向断面図(下)を表し、それぞれの地震の震源の垂直分布を表しています。

「地震概況」

2025年(令和7年)3月に、高知県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は1回でした(前月は2回)。

18日05時00分、熊本県熊本地方の地震(深さ10km、M4.8、震央分布図外①)により、宿毛市で震度1を観測しました。また、熊本県で震度4を観測したほか、九州地方で震度3～1を観測しました。

注) 地震概況にある数字は、「地震の表」及び「震度分布図」の番号に対応しています。

「高知県で震度 1 以上を観測した地震と各地の震度」

2025 年 3 月

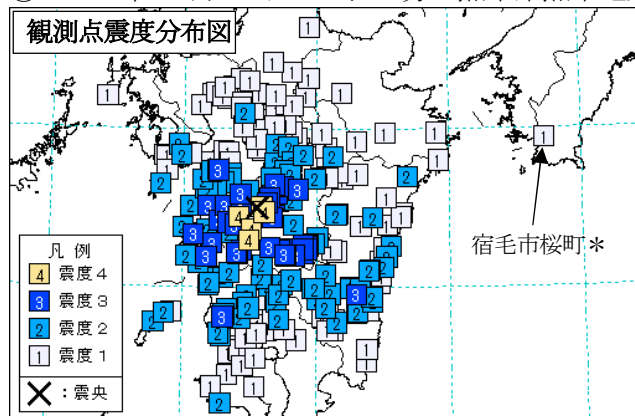
発震時刻（年月日時分） 各地の震度（高知県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
① 2025 年 03 月 18 日 05 時 00 分 高知県 震度 1：宿毛市桜町＊	熊本県熊本地方	32° 29.9' N	130° 33.3' E	10km	M4.8

注）観測点名の＊印は、気象庁以外（高知県または国立研究開発法人防災科学技術研究所）の震度観測点です。

「高知県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図」

2025 年 3 月

① 2025 年 03 月 18 日 05 時 00 分 熊本県熊本地方 深さ 10km M4.8



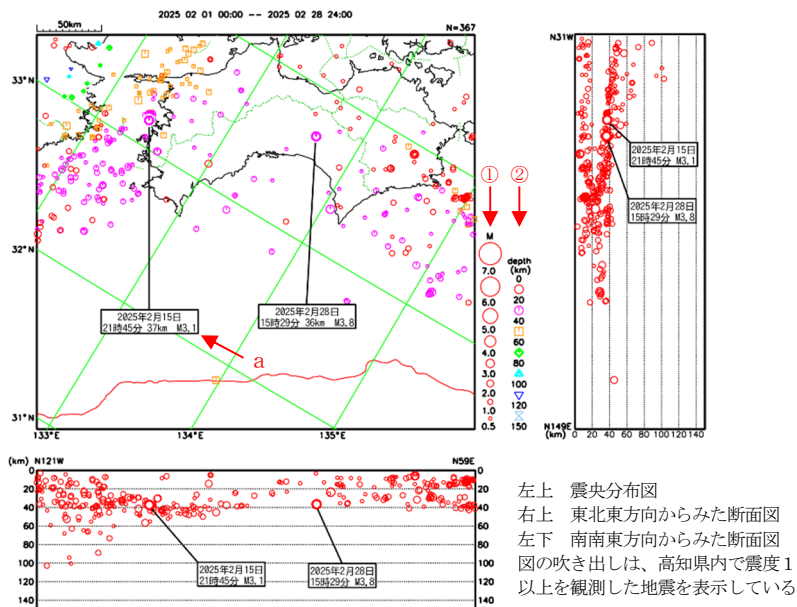
「地震一口メモ」

「高知県の地震」の見方について

ご覧いただいている「高知県の地震」は、高知県及びその周辺の毎月の地震活動状況をまとめた資料です。毎月月中旬頃に、発行月の前月に発生した地震を対象に最新号を発行し、最新号から過去一年分までを、高知地方気象台ホームページで公開しています。各号には、対象月に発生した地震について、「震央分布図及び断面図」、「地震概況」、「高知県で震度1以上を観測した地震の表及び震度分布図」等の項目を掲載し、対象月の地震活動が把握できるようになっています。また、資料の最後には、地震・津波に関する有用な情報を「地震一口メモ」として掲載することがあります。今月の「地震一口メモ」では、人の異動が多い時期ということもあり、初めて「高知県の地震」をご覧になる方向けに、「高知県の地震」の見方についてご説明します。

【震央分布図】

震央とは、震源（岩盤のずれ運動である地震で、そのずれ運動が始まった点）の真上にあたる地表の点のことで、地図上に震央を表示した図を震央分布図といいます（下図左上）。図中の記号の位置で発生した震央の「緯度・経度」を、記号の大きさで「地震の規模（マグニチュード：以下「M」という。）」を、記号の色・形で「震源の深さ」をそれぞれ表現しています。この図から地震の震源の空間的な分布が読み取れます。



※震央分布図とは、地図上に地震の震央を表示し地震の活動を示したものです。

表示されたマークの意味

記号の位置・・・震央

記号の大きさ（図の①）

・・・Mの大きさ

記号の形（図の②）

・・・震源の深さ（単位：km）

深さ（km）の凡例

○ は深さ 00～20 km未満

○ は深さ 20～40 km未満

○ は深さ 40～60 km未満

◇ は深さ 60～80 km未満

△ は深さ 80～100 km未満

▽ は深さ 100～120 km未満

△ は深さ 120～150 km未満

図 震央分布図及び断面図（2025年2月の例）

【断面図】

震央分布図で表示した範囲の地震の震源を鉛直断面に投影した図を断面図といい、震源の深さ分布を見ることができます（上図右上及び左下）。断面図では、記号の色・形は同一（赤丸）とし、その大きさでMを表しています。震央分布図と断面図を対で表示することで、震源の空間的な分布を把握しやすくなります。

【地震概況】

高知県内で震度1以上を観測した地震や注目した地震について説明しています。それらの地震の震源が、震央分布図及び断面図内にあれば、上図aのように吹き出し表示で発生時、深さ、M等を強調表示します。

【高知県で震度1以上を観測した地震の表及び震度分布図】

地震の表は、高知県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震の一覧表です。地震が発生した時刻、震央地名、震源の緯度・経度、深さ、M及び観測された震度と観測地点名を記載しています。

震度分布図は、高知県内で震度1以上を観測した地震の震度を観測地点ごとに地図上に表示した図です。

【地震一口メモ】

地震や津波等に関する知識や、気象庁で行っている業務を紹介したりします。気象庁が発表する地震、津波の情報に変更があった場合は、その内容について解説し、お知らせすることもあります。